

# 蒲郡市立図書館

## 開館 50 周年記念誌



現在の蒲郡市立図書館(令和元年)



開館 50 周年記念セレモニーのくす玉割り(令和元年)



ハロウィンおはなし会(令和元年)

令和2年 3 月

# 蒲郡市立図書館開館50周年記念事業

市民の皆さんとともに祝った50周年。



5月 今月の特集「50(ごじゅう)」



6月 おやこ工作教室



7月 フォトスポット

## 7月 開館50周年記念セレモニー



読み聞かせボランティアへ感謝状



未来へ向かって、テープカット



7月 みんなできしよかんさくぶん♪



7月 「岩瀬忠震」展



8月 「蒲郡の戦国時代」トークショー

## 10月～11月 開館50周年記念・読書週間イベント



親子向けのセット本企画が大人気



運命の本と出会えるガチャ本が登場



図書館だより掲載の川柳を一挙公開



ワクワク！秘密基地のおはなし会



みんなで作る、おすすめ本の読書の木



ビックリ仰天、手品のおはなし会



11月 「かがくのとも」50年とこれから



12月 めいぐるみのおとまり会



1月 法律講座(講師の中村弥生弁護士)



## 蒲郡市立図書館開館 50 周年によせて

蒲郡市長 鈴木寿明

蒲郡市立図書館は、昭和 44 年 7 月 1 日に開館し、今年で 50 周年を迎えました。半世紀にわたるあゆみの中で、増改築や電算化、保育園等への貸出文庫、蔵書数の大幅な増加など、常に市民の目線に立ったサービス向上に努め、蒲郡市の生涯学習の場として重要な役割を果たしてきました。

平成 21 年度から図書館の運営は指定管理者の特定非営利活動法人ブックパートナー様へとバトンタッチしました。情報欲求の細分化や子育て支援の必要性など社会の変化に柔軟に対応し、開館時間の拡大やレファレンスサービスの拡充、市内小中学校図書館との緊密な連携など、よりきめ細かいサービスを提供しています。中でも児童サービスが認められ、平成 25 年には子どもの読書活動優秀実践図書館として文部科学大臣賞を受賞しました。

読み聞かせ・音訳・図書修理などのボランティアや、企画展示で活躍する方々など、多くの市民に支えられる図書館であることも当市の誇りです。

図書館を日々利用してくださる市民の方々、そして図書館を支えてくださる多くの皆様に心からお礼申し上げます。今後も蒲郡市の文化と知の拠点として、広く市民に図書館を活用いただけるよう、官民一体となって努めてまいります。

### 蒲郡市立図書館50周年記念事業

(写真は P.1)

#### 5 月 今月の特集「50(ごじゅう)」

数字の「50」や 50 年前の 1969 年(昭和 44 年)がテーマの本が集結。

#### 6 月 8 日 おやこ工作教室

紙コップやストローでおもちゃを作りました。

#### 7 月 2 日～7 月 30 日 フォトスポット設置

おはなしの部屋に 50 周年記念フォトスポットが登場しました。

#### 7 月 7 日 開館 50 周年記念セレモニー

長年図書館で活躍してきた読み聞かせボランティアグループへの感謝状贈呈や、子どもさんによるくす玉割り、来賓によるテープカットなどを行いました。

#### 7 月 2 日～7 月 21 日 募集

#### みんなでとしょかんさくぶん♪

「が」「ま」「ご」「お」「り」「と」「し」「よ」「かん」の文字を使った楽しい文章を募集し、絵本風の冊子にまとめて配布しました。

#### 7 月 7 日～7 月 28 日

#### 記念展示1 人物郷土史 22 「大塚・中島城主の子孫、日本開国の立役者 岩瀬忠震」展

蒲郡市大塚の中島城ゆかりの偉人の足跡を紹介しました。

#### 8 月 3 日～8 月 25 日

#### 記念展示 2 「蒲郡の戦国時代」「図書館 50 年のあゆみ」

蒲郡の戦国城主を紹介する展示と、図書館 50 年史を紹介する展示の 2 本立てです。

#### 8 月 4 日

#### 蒲郡市制 65 周年記念事業 記念展示 2 図書館・博物館特別コラボ トークショー 司書×学芸員が愛する「蒲郡の戦国時代」

記念展示 2 の関連企画として、司書と蒲郡市博物館の学芸員が、蒲郡の戦国時代について熱く語り合いました。

#### 10 月 1 日～10 月 20 日

#### 内藤勲の似顔絵ツセイ展 パート 25

図書館 50 周年にちなみ「50 歳」「50 年」に関連する似顔絵も展示しました。

#### 10 月 26 日～11 月 10 日

#### 開館 50 周年記念・読書週間イベント

児童向け・一般向けともに盛りだくさんのイベントを実施しました。

#### 11 月 10 日 第 44 回 図書館文学講座

#### 「かがくのとも」50 年とこれから

福音館書店『かがくのとも』編集長川鍋雅則氏が科学の心を育てる絵本の魅力を語りました。

#### 12 月 15 日 めいぐるみのおとまり会

めいぐるみたちがおとまり会をし、夜の図書館を探検する楽しいイベントです。

#### 1 月 25 日 やさしい相続と遺言のおはなし(法律講座)

弁護士の中村弥生氏が高齢社会に重要となる相続や遺言を解説しました。図書館にある法情報総合データベースの活用方法もご紹介。



## 「未来への種」をまく蒲郡市立図書館

蒲郡市教育委員会教育長 大原 義文

蒲郡市立図書館が開館50周年を迎えました。私は、市立図書館は「未来への種をまく施設」であると思います。昭和44年、先人は「多くの市民が、本との出会いを通して豊かな人生を送ってほしい」との願いを込め、この施設を開館させました。私事ですが、亡き父も建設に関与させていただいた一人であり、50年の時を経て私が一文を寄せさせていただくことにご縁を感じます。

公共施設は、建物の完成が真の完成ではありません。その施設が生み出すものが、利用する人の人生をいかに豊かにするかが大切だと思います。そのためには、運営する側、利用される皆さん、そして支えてくださる皆さんの活動や工夫の積み重ねがあって真の完成に近づきます。市立図書館は、この間、読み聞かせ・図書修理・音訳などの多くのボランティアの皆さんのご協力をいただいております。厚く感謝を申し上げます。また、NPO 法人ブックパートナーの皆さんの指定管理に移行し、開館時間の拡大、レファレンスの充実、学校図書館との連携拡大等で、市民に愛され、親しまれる図書館に成長しました。さらに、「金沢ヒューマン文庫」の開設等貴重な財産も増えました。

幼い子どもからお年寄りまで世代を超えて本との出会いを誘う場として、今後とも市民の皆さんと共に「未来への種」をまき続けたいと思います。



## 50周年おめでとう

NPO 法人ブックパートナー理事長  
元蒲郡市教育委員会委員長 牧原 孝二郎

1969年7月号の「広報がまごおり」の表紙には、にぎわいをみせる学生閲覧室の写真と〈待望の図書館がオープン さあ、ご利用ください〉の文字がおどっています。紙面にはひき続き利用案内として、「図書館の利用は無料です。おいでになって自由に本をご覧ください。館外貸出冊数は二冊で、期間は一週間です」と記されています。（この時の蔵書冊数は1万2千冊、現在は28万冊余です。）当時は日本の公共図書館が「市民の図書館」として各地に生まれ、読書が一部の有識者のものではなく、正に市民生活の中に定着していく時代でありました。あえて、本が無料で借りられますとPRした時代です。以来、時代の変化、経済の成長とともに図書館は市民サービスの重要施設として大きな貢献をしてきました。

2009年からは図書館は指定管理者制度のもとNPO 法人ブックパートナーによって運営されています。NPOによる運営は県下でも先進的事例です。私たちは「本との出会いをお手伝いします」の使命のもとに市民の皆さんに満足していただける図書館運営を常に心がけていますが、老朽化した施設はいかんともしがたいものがあります。情報手段が大きな変化を起こしている昨今ではありますが、活字文化の重要性が失われることはありません。さらに、生涯学習の時代の求めに応じた施設としての「新図書館」が求められる時が来たと思います。半世紀前〈待望の図書館がオープン…〉と歓迎した喜びを次の世代にも送りたいと熱望しています。

# 蒲郡市立図書館のあゆみ

1969年(昭和44年)

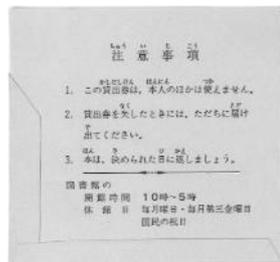
- 4月 蒲郡市立図書館開設準備室設置
- 7月 蒲郡市立図書館竣工・図書館開館  
蔵書12,000冊でスタート

1970年(昭和45年)

- 2月 読書会グループ「菜の花読書会」「げつよう会」発足
- 3月 読書会グループ「やよい読書会」発足
- 4月 読書会グループ「円読書会」「オレンジグループ」発足
- 5月 岸間文庫・大正文庫搬入
- 6月 子ども読書会「つくし会」活動開始。蒲郡・豊橋子ども読書会交歓会開催
- 8月 自転車置場を増設
- 9月 読書会グループ「あすなろ読書会」発足
- 10月 「母と子の文庫」を蒲郡南部・西浦西保育園で開設  
カセットテープの館内利用開始  
「本に親しむみんなの集い」三河地区大会開催

1971年(昭和46年)

- 1月 「貸出文庫」として府相公民館等に配本を開始
- 4月 「母と子の文庫」を塩津保育園はじめ6保育園で開設、「青空文庫」を鶴ヶ浜団地・橘ヶ丘団地で開設
- 10月 第1回市青少年読書感想文コンクールを実施



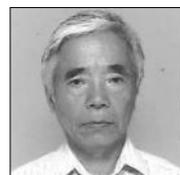
コンピューターによる貸出開始前に使用していた「貸出券」(写真は昭和61年のもの)



待ちに待った図書館オープン。机に向かう学生たち

## 険しかった、オープンに至る道

NPO 法人ブックパートナー理事(元蒲郡市立図書館職員) 船坂 清伸



昭和44(1969)年7月1日、竣工と同時にオープンは、厳然たる決定事項でした。

この年の4月1日、当時港町にあった中央公民館図書室に蒲郡市立図書館開設準備室が設置され、一連の業務がスタートしました。スタッフは新卒採用の4名を含む総勢7名、殆ど図書館運営は素人。僅か三ヶ月で開設の任を果たすには余りにも厳しい状況でした。

建設中の建物は、外観は整ったものの未だ内装、外構は工事中。そうした中、書棚、閲覧机、ロッカー等の備品や家具の搬入は、工事業者の作業の隙間を縫って行うという慌ただしさ。また、新館



おはなし会の様子。基本サービスを一つひとつ創り上げた図書館の草創期です

を飾る図書類は、公民館図書と新図書館用の資料群として発注購入した大量の図書を加えての整理。新卒の職員集団がこれに携わり、初体験ながら一冊一冊、原簿登録、蔵書印押印、分類、目録作成、貸出装備等と12,000冊であったが完遂。その後の新天地への移送、書棚への配架等を経て、際どい日程ではあったものの、7月1日にお客様を迎える態勢作りをこの短期間でやり切ったこと、懐かしく思い出されます。

1972年(昭和47年)

4月 「貸出文庫」を東部市民センターに開設、蔵書500冊でスタート  
「青空文庫」を、鹿島団地を加え3拠点で開設  
「母と子の文庫」を、三谷西保育園等を加え計8保育園で開設  
「蒲郡子どもの本研究会」が発足

5月 読書会「火よう会」活動開始

1973年(昭和48年)

7月 「蒲郡子どもの本研究会」の活動の一環として、児童室で毎週日曜日「絵本の読み聞かせ会」スタート

10月 「貸出文庫」を竹谷団地集会所で開設

1974年(昭和49年)

4月 「青空文庫」等の各文庫の体制を整備再編、「青空文庫」西浦公民館はじめ8カ所、「母と子の文庫」西浦保育園はじめ12保育園、「保育園巡回文庫」鹿島保育園はじめ8保育園

8月 「蒲郡子どもの本研究会」が東部市民センターで「絵本の読み聞かせ会」開始

1975年(昭和50年)

4月 「青空文庫」の竹谷団地・塩津公民館廃止、「母と子の文庫」の西浦保育園はじめ6保育園廃止

10月 点字図書の貸出を開始

1976年(昭和51年)

4月 「青空文庫」等館外サービスの充実のため、専用の配本車を導入

1977年(昭和52年)

4月 「耳で聞く声の図書館」としてカセットテープの貸出を開始

1978年(昭和53年)

9月 図書館増築工事着工



「母親教室」に続々と集まる方々。子どもによい本を手渡したい思いは時代を超えて図書館に息づきます



「本に親しむみんなのつどい」での講演風景  
市民の読書熱に応えました

## 絵本で未来を描く

蒲郡子どもの本研究会 近藤 千恵子



1972年、3月1日に開催された蒲郡市立図書館主催の「第一回図書館母親教室」(「子どもに良い本を与えるには」講師 佐藤宗夫先生)の受講生が集まり、その年の4月10日に発足しました。「子どもに本の楽しさを伝えたい」という夢は、地域の子もたちに“良い読書環境を作りたい”と言うことでした。公民館での読み聞かせ会や「金沢ヒューマン文庫を愛し守る会」での勉強会、市のブックスタート事業にボランティアとして協力するなど、子どもの本を通して社会



児童室にて蒲郡子どもの本研究会の皆さん

参加をしています。会員の子どもの書いた次のような詩があります。「毎日毎日 おとなって大変です こどもはいいなあ 自由で でも今日だけは おとなはお休み 絵本を手にして 子どもの頃へ タイムスリップ」

子どもたちが本を読んで感動するということは、自分自身を大切にする心を持つと信じています。

- 1979年(昭和54年)  
 5月 図書館増築工事竣工。南側を約354平米増築。1階は児童室のスペース拡大(現在の4～5類の半円形スペース)と自転車置場の新設。2階は一般室のスペース拡大(現在の0～8類の開架書架スペースと閲覧席)。収蔵能力が50,000冊から120,000冊に拡大  
 6月 「貸出文庫」を大塚・西浦公民館に開設  
 10月 「貸出文庫」を西部市民センターに開設  
 1980年(昭和55年)  
 4月 紙芝居の個人貸出を開始  
 1981年(昭和56年)  
 4月 図書館分室を5分室開設(従来の「貸出文庫」を図書館分室として再編)  
 1982年(昭和57年)  
 3月 読書会「やどかり会」発足  
 12月 2階ペランダを改造し軽読書コーナーを設置  
 1983年(昭和58年)  
 9月 図書館増築工事着工  
 1984年(昭和59年)  
 3月 図書館増築工事竣工。西側を鉄筋コンクリート造3階建延457平米増築。閉架書庫を増設し移動式書架装備。エレベーターを設置。収蔵能力が120,000冊から220,000冊に拡大  
 5月 図書館分室を東部公民館に開設  
 9月 読書グループ「雲」発足  
 1986年(昭和61年)  
 1月 図書館だよりとして「図書館情報」の発行を開始



施設面も次第に充実。新たに設けられた軽読書コーナー



「蒲郡市立図書館ガイド」1985年7月刊

## やよい読書会と『私たち風文学散歩』

やよい読書会 永井 正子

蒲郡市立図書館が建てられた頃、昭和45年3月、やよい読書会は発足しました。水竹町の本の好きな先輩、小野田徳枝さんに呼び掛けていただき、近所の人達を中心に10人ほどの仲間が集まりました。今風に言えばママ友で、会員の年齢も近く家族の気心も知れた仲間たちです。

現在は7人、平均年齢80歳を少し超えましたが、毎月1冊回し読みし、読んだ本に関係の所へ、自分達で計画し、年に一度の旅。初期20年間の記録が『私たち風文学散歩』となりました。会員一同、まだまだ元気です。

50年近く続いたことに我ながら驚くとともに、初めは旅行にも一緒に行って下さり、又、『私たち風文学散歩』を纏めて下さった図書館の方々のご指導、お骨折りがあったればこそと、改めて深く感謝致しております。



『私たち風文学散歩』  
やよい読書会 1990



図書館で本を輪読する「やよい読書会」の皆さん

1989年(平成元年)

7月 図書館開館20周年記念フェスティバルを開催

1990年(平成2年)

3月 隣地の労働基準監督署跡地を含めた図書館駐車場整備工事が完了

6月 自転車置場整備(東側)

7月 図書館分室を太陽の家に設置

1991年(平成3年)

2月 図書館の活動サークル「蒲郡絵てがみの会」発足

4月 図書館電算化(図書館システム導入)に向け既存図書の見直し作業を始める。電算化の準備作業のため「母と子の文庫」「青空文庫」を廃止し保育園巡回文庫を1カ年休止

6月 電算機(図書館システム)導入委員会発足

1992年(平成4年)

7月 図書館システム導入に向け「図書利用カード」の予約申込み受け付け開始。図書利用カードは絵本作家いわむらかずお氏から使用許可を得たキャラクターが評判を呼ぶ

1993年(平成5年)

4月 図書館システム稼働

7月 教育者、故金沢嘉市氏の蔵書の寄贈を受け「金沢ヒューマン文庫」オープン

11月 玄関の自動ドア・多目的トイレ・スロープを設置

1994年(平成6年)

7月 「金沢ヒューマン文庫」の研究グループ「金沢嘉市研究会」が東京・東海・蒲郡等の広範な地域から参加を得て第1回合同研究会を開催

8月 児童館開館に伴い児童館巡回文庫を開始

11月 図書館の活動サークル「蒲郡絵てがみの会」が県内に絵てがみ交流を呼びかけ、応募された作品を展示する「公募・絵てがみ展」を開催



「金沢嘉市研究会」。郷土の偉大な教育者の意思を継承します



開館 20 周年記念特別展「近代文人遺墨展」

## はじめは図書館

蒲郡絵てがみの会 井澤 秀枝



平成元年、牧野正則先生を講師として図書館で開かれた「絵手紙講座」がきっかけとなり、平成3年2月に、図書館の活動サークル「蒲郡絵てがみの会」が発足しました。

月1回の絵手紙教室では、会員の楽しい生涯学習交流の場として、仲間が集まります。毎年「ほっこりあったか絵手紙展」の会期中には、初心者対象の絵手紙教室が開かれ、図書館へ足を運び



図書館での展示会にて、役員の皆さん

受講された方々より、「気楽に絵手紙が楽しめるいい機会でした。」と嬉しい言葉も戴きました。

これまでの活動を振り返ると、県内公募の絵手紙展に始まり、全国公募「がまごおり絵手紙大賞」、生涯学習講座の絵手紙教室など数多くの活動を続けてきました。

これからも身近であり、多種多様な情報や知識を得ることのできる図書館に期待が膨らみます。

1995年(平成7年)

9月 隣地の蒲郡医師会の移転に伴い、駐車場を整備。駐車台数70台となる  
全国に広く公募する「第1回がまごおり絵手紙大賞」に取り組み、11,609点の応募がある。博物館で入賞作品展を開催し、入賞作品集を6,000部発行

1999年(平成11年)

4月 蒲郡市立看護専門学校(現蒲郡市立ソフィア看護専門学校)が五井町へ移転。宮成町の建物は蒲郡市立図書館別館となる

8月 市制施行45周年記念事業「絵手紙展」開催

2002年(平成14年)

7月 インターネット蔵書検索システム開始

2003年(平成15年)

5月 ブックスタート事業開始

2005年(平成17年)

3月 蒲郡市子どもの読書推進計画策定

6月 英文多読講演会開催。講師：酒井邦秀氏(日本多読学会会長)  
英文多読図書コーナー開設

2006年(平成18年)

5月 英文多読講演会開催。講師：古川昭夫氏(SSS英語学習法研究会代表)

2008年(平成20年)

10月 読み聞かせボランティア養成講座



児童室でクリスマス会。読み聞かせのほか、ギターやヴァイオリン、フルート、ハンドベルなどの演奏も



夏休み、別館でのおりがみ教室に参加する大勢の親子

## 図書館を活用した生涯学習としての「英文多読」

豊田工業高等専門学校教授 西澤 一



2005年に英文多読コーナーが設けられてから14年、現在、蒲郡市立図書館では約3,200冊のやさしい英文図書を所蔵しています。この英文図書を利用して行う多読(和訳せず、英文を直接理解する読み方)が幅広い年齢層に有効であることも、実践から分かってきました。しかしながら、多読の効果を実感するまでには長期継続が不可欠で、個人の努力だけの継続



英文多読相談会。参加者が英語でブックトークも

は容易ではありません。そこで、図書館では英文多読相談会を定期的に行い、読み方や本選びに対する相談に応じ、利用者相互の交流を図る機会を設けています(2019年11月までに109回開催)。また、近年は、各利用者が最近読んだ本の内容や感想を相互に紹介する英語ブックトーク活動を、相談会の中で始めました。日常生活では使わない英語を話す機会が刺激となり、読書意欲が向上すると期待しています。

2009年(平成21年)

- 4月 指定管理者制度導入、特定非営利活動法人ブックパートナーを指定管理者として指定  
・開館時間を午前10時から9時へ1時間繰上げ変更  
・一般室にレファレンスカウンターを設置  
・インターネット検索専用パソコン2台設置
- 5月 インターネット予約開始
- 8月 開館40周年記念事業として「ちびっこ司書」「図書館探検ツアー」等を開催
- 9月 利用者アンケート調査実施(以降毎年9月頃実施)
- 11月 愛知工科大学図書館との相互協力に関する協定書締結

2010年(平成22年)

- 2月 利用者満足度調査実施

2011年(平成23年)

- 1月 赤ちゃんの駅事業施設への登録
- 9月 ツイッターによる情報発信開始



利用者アンケートで命名された、図書館のキャラクター「めくるくん」。左が初登場の2010年、右は2019年の姿



小学生から企業人、行政マンまで、多くの市民におすすめの本などをインタビュー。広報がまごおりの図書館だよりに掲載しました。写真は金原市長(当時)



レファレンスカウンターでは、さまざまな調べものをお手伝いします



日頃は見られない図書館の裏側も見られる「図書館探検ツアー」は子どもたちに人気のイベント



IT時代に対応し、インターネット検索用パソコンを設置。調べものがいっそう便利に



夏休みの児童室で、調べ学習教室を開催。好奇心をいっぱいに広げて調べる子どもたち

2012年(平成24年)

- 4月 図書館指定管理者制度継続(2期目)
- 10月 新着資料案内メールサービス開始
- 11月 愛知図書館協会レファレンスサービス研修「公開講座」にて事例発表



「ママ向けコンサート」にうっとり

2013年(平成25年)

- 3月 西部市民センター分室の廃止
- 4月 子どもの読書活動優秀実践図書館として、文部科学大臣賞を受賞  
蒲郡文化広場分室の開設、東部市民センター分室の名称を三谷公民館分室に変更
- 8月 利用者アンケートで図書館のキャラクターの名前を募集し、「めくるくん」に決定
- 9月 障がい者サービスの本格的開始
- 11月 「がまごおり物語」展(斉と公平太)

2014年(平成26年)

- 1月 国立国会図書館レファレンス協同データベース事業より礼状(以降毎年)、『つながる図書館』猪谷千香/著(2014年 筑摩書房)にレファレンス事例を紹介される
- 4月 毎週金曜日午前10時半から12時まで「あかちゃんタイム」の開始
- 6月 読書感想文教室を開催
- 8月 「大橋裕之」展(蒲郡出身の漫画家)、図書館雑誌8月号「れふあれんす三題噺」に記事掲載
- 11月 平成26年度愛知県読書活動推進大会(愛知県図書館開催)で、事例発表「よみがえる図書館～私たちが目指すもの～」



乳幼児と保護者に図書館で楽しい時間を提供する「あかちゃんタイム」



平成 25 年、「子どもの読書活動優秀実践図書館」として文部科学大臣賞を受賞

## 聞いて読書する録音図書

音訳ボランティア 夏目 久子

五十周年おめでとうございます。音訳グループは、「図書館利用に障害のある人々へのサービス」として録音図書(音訳図書)製作をしています。まだ5年に満たない新参者ですが、視覚障害等による読書困難者に読書を楽しんでもらうためのお手伝いをしています。1年間の音訳の勉強をした後、図書や資料を録音します。「聞いて解る読み」の技術を高めるための勉強会も重ねながら。

この活動は、どの図書館でも実施しているわけではありません。そういう意味で、蒲郡市立図書館が取り組んでくださったことを誇らしく思っています。

目が不自由になったり、体の不具合で、読書できなくなっても読書できます。「正しく、聞きよく、速やかに」作ることが、私たちのモットーです。因みに、全国に大勢いる音訳ボランティアによる録音図書を、図書館で借りることもできます。



図書館の録音図書を製作する音訳ボランティアの皆さん。勉強会を開催してスキルアップを図っています

2015年(平成27年)

- 3月 シンポジウム「図書館多読への招待」(豊田工業高等専門学校)で事例報告
- 4月 図書館指定管理者制度継続(3期目)  
南部市民センター分室の開室時間を午後から午前に変更
- 6月 「まちづくりの本」コーナー設置

2016年(平成28年)

- 1月 音訳版図書館だより、YAコーナー、じどうしつだよりの発行開始
- 2月 点訳版図書館だより、YAコーナーの発行開始
- 3月 無料Wi-Fi「FREESPOT(フリースポット)」利用開始
- 4月 国立国会図書館の図書館向けデジタル化資料送信サービスの利用開始
- 6月 ブログ開始
- 7月 図書館セミナー2016in名古屋において講演
- 8月 あいちトリエンナーレ2016パートナーシップ事業「大橋裕之と蒲郡」(展示)
- 12月 国立国会図書館視覚障害者等用データ送信サービスの利用開始

2017年(平成29年)

- 4月 国立国会図書館視覚障害者等用データ送信サービスへのデータ提供開始  
平成29年度東三河公立小中学校事務職員研究会定期総会研修会にて講話

2018年(平成30年)

- 4月 「英文多読読書相談会」開催100回目
- 8月 あいちトリエンナーレ2019パートナーシップ事業「大橋裕之『シティライツ完全版』原画展」
- 10月 あいちトリエンナーレ2019パートナーシップ事業「内藤勲の似顔絵ツッセイ展パート24」

2019年(平成31年・令和元年)

- 1月 あいちトリエンナーレ2019パートナーシップ事業「箔屋スフィカのアルミホイルの世界展」
- 2月 別館建物解体工事開始
- 3月 国立国会図書館レファレンス協同データベース事業より礼状(7年連続)
- 7月 蒲郡市立図書館開館50周年
- 10月 蒲郡市立図書館開館50周年記念読書週間イベント



『つながる図書館 ―コミュニティの核をめざす試み』(猪谷 千香/著,筑摩書房,2014)で、レファレンス事例が紹介されました



蒲郡市出身のミュージシャン尾崎元章さん(左)のミニ展示



国立国会図書館レファレンス協同データベース事業より7年連続で礼状を授与されました



例年夏休み前に大人気の「読書感想文教室」。真剣に聴く子どもたち

## 拝啓 YA世代と呼ばれるあなたへ

愛知教育大学附属岡崎中学校  
教諭 森 卓也

本を読むことのすばらしさは何だと思えますか。読解力が上がるとか、集中力が高まるとかでしょうか。私は違うと思えます。本は、自分の中にはない「いろいろな見方」に気づかせてくれるものであり、「世界の見方」すら変えてくれるもの。つまり、あなたが本を閉じたとき、本を開く前とは明らかに違うあなたが生まれているのです。

YA世代には、その時代特有の悩みや葛藤、喜びがあり、それはいずれ形を変えたり、悲しいけれどなくなったりします。だからこそ、今しか感じられないあなたの感覚で、1冊でも多くのすてきな本と出会ってほしいのです。あなたの世界は、ときにぐらぐらと揺れながら、とても豊かなものに姿を変えていくことでしょう。この本は私のためにある。そう思える瞬間がたくさん訪れることを祈っています。さあ、本を読んで、町に出ましょう。



国語教諭・森先生は YA 向け図書館だよりでおすすめの本を紹介。連載 90 回を超えました。



森先生おすすめの本を特集

# 図書館文学講座のあゆみ

文学に触れ、教養を深め、人生を豊かにします。

- 1970年(昭和45年)  
10月 本に親しむみんなの集い 三河地区大会  
講師:永井路子氏(作家)
- 1973年(昭和48年)  
3月 第1回文学史講座 講師:三保谷環氏
- 1974年(昭和49年)  
2月 第2回文学史講座 講師:三保谷環氏
- 1975年(昭和50年)  
3月 第3回文学史講座 講師:三保谷環氏  
5月 第4回文学史講座 講師:三保谷環氏
- 1977年(昭和52年)  
3月 第5回文学講座「源氏物語の時代背景」 講師:三保谷環氏
- 1978年(昭和53年)  
2月 第6回文学講座「平家物語」 講師:市川章雄氏
- 1981年(昭和56年)  
2月 第7回文学講座「読み進む読書—テーマ本の与え方」  
講師:市川章雄氏  
12月 第8回文学講座「森鷗外一人と作品」 講師:三保谷環氏
- 1982年(昭和57年)  
10月 本に親しむみんなの集い 三河地区蒲郡市集会「子どもに生きぬく力を」 講師:早乙女勝元氏(作家)
- 1983年(昭和58年)  
2月 第9回文学史講座「うちつけに物ぞ哀しき—源実朝の人生と和歌」 講師:黒柳孝夫氏(愛知大学助教授)
- 1984年(昭和59年)  
3月 第10回文学講座「百人一首の成立事情」  
講師:黒柳孝夫氏(愛知大学助教授)
- 1985年(昭和60年)  
2月 第11回文学講座「徒然草を読む」  
講師:中出惇氏(愛知大学教授)
- 1986年(昭和61年)  
1月 第12回文学講座「立原正秋—その人と周辺」  
講師:宮城谷昌光氏(作家)
- 1987年(昭和62年)  
2月 第13回文学講座「表現のよこびを求めて—高校生のための文章読本のこと」 講師:松川由博氏(小牧工業高校教諭)  
10月 第14回文学講座「詩の秘密・詩のよこび」  
講師:北川透氏(詩人・愛知大学客員教授)
- 1988年(昭和63年)  
11月 第15回文学講座「態度の心理学」  
講師:水野智氏(東海産業短期大学講師)
- 1989年(平成元年)  
11月 第16回文学講座「元気な土ふまず」  
講師:堀田あけみ氏(作家)
- 1990年(平成2年)  
7月 第17回文学講座「百人一首の秘密」  
講師:林直道氏(大阪市立大学名誉教授)
- 1992年(平成4年)  
3月 第18回文学講座「我人生を語る 子どもと絵本と生き方と」  
講師:松居直氏(福音館書店会長)
- 1993年(平成5年)  
3月 第19回図書館文学講座「今、源氏物語を読む」  
講師:久曾神昇氏(愛知大学名誉教授)  
11月 第20回図書館文学講座「宮沢賢治・人と作品」  
講師:三保谷環氏(元蒲郡高校教諭)
- 1994年(平成6年)  
10月 第21回図書館文学講座「太平記の世界」  
講師:林直道氏(大阪市立大学名誉教授)
- 1995年(平成7年)  
11月 第22回図書館文学講座「歌見誠一と新美南吉」  
講師:堀尾幸平氏(愛知淑徳大学助教授)
- 1996年(平成8年)  
11月 第23回図書館文学講座「平家物語を平曲で聞く」  
講師:林旭紅氏(筑前琵琶奏者)
- 1998年(平成10年)  
2月 第24回図書館文学講座「松尾芭蕉・人と文学」  
講師:堀尾幸平氏(愛知淑徳大学教授)  
11月 第25回図書館文学講座「阿仏尼と冷泉家」  
講師:久曾神昇氏(愛知大学名誉教授)
- 1999年(平成11年)  
10月 市制施行45周年(図書館開館30周年)記念事業「文学ゆめ対談」 講師:宮城谷昌光氏・平野啓一郎氏(蒲郡ゆかりの作家)
- 2000年(平成12年)  
10月 本に親しむみんなの集い 講演「少年犯罪の風景」(愛知図書館協会と共催) 講師:佐木隆三氏(作家)
- 2001年(平成13年)  
10月 第26回図書館文学講座「宮沢賢治の世界」  
講師:堀尾幸平氏(愛知淑徳大学助教授)
- 2002年(平成14年)  
10月 第27回図書館文学講座「戦国武家の女性たち」  
講師:新行紀一氏(愛知教育大学名誉教授)
- 2003年(平成15年)  
10月 第28回図書館文学講座「吉川英治と『新書太閤記』」  
講師:阿部一彦氏(愛知淑徳大学大学院教授)
- 2004年(平成16年)  
10月 第29回図書館文学講座「生活と芸術—『閑』のある生き方を求めて—」 講師:黒柳孝夫氏(愛知大学短期学部教授)
- 2005年(平成17年)  
10月 第30回図書館文学講座「幻想小説を読む—坂口安吾『桜の森の満開の下』」 講師:谷彰氏(愛知大学短期大学助教授)
- 2006年(平成18年)  
10月 第31回図書館文学講座 人生を豊かに—中野孝次「趣味に生きる愉しみ」— 講師:黒柳孝夫氏(愛知大学副学長)
- 2007年(平成19年)  
10月 第32回図書館文学講座「『紅樓夢(こうろうむ)』という宝物—中国の源氏物語?」 講師:小山澄夫氏(愛知大学文学部教授)
- 2008年(平成20年)  
10月 第33回図書館文学講座「短歌のある風景」  
講師:小塩卓哉氏(歌人)
- 2009年(平成21年)  
10月 第34回図書館文学講座 蒲郡は児童文学の発祥の地「三輪弘忠『少年之玉』の魅力」 講師:堀尾幸平氏(愛知淑徳大学教授・作家)
- 2010年(平成22年)  
10月 第35回図書館文学講座 国民読書年記念講演「子どもが本に出会うとき—赤木かん子の読書案内」  
講師:赤木かん子氏(児童文学評論家)
- 2011年(平成23年)  
9月 第36回図書館文学講座「短歌の楽しみ」  
講師:穂村弘氏(歌人)  
10月 命をはぐくむ推進事業 講演会「いのちのはぐくみ—絵本、自然、子ども」 講師:いわむらかずお氏(絵本作家)
- 2012年(平成24年)  
10月 第37回図書館文学講座 図書館学びの講座「植物の生きざまを見る」 講師:いがりまさし氏(植物写真家・シンガーソングライター)
- 2013年(平成25年)  
10月 第38回図書館文学講座「はじめての川柳 5・7・5は人生の応援歌」 講師:鈴木順子氏(豊橋番傘川柳会会長)
- 2014年(平成26年)  
9月 第39回図書館文学講座 図書館学びの講座「昭和なるほど講座—やさしい回想法」 講師:佐溝力氏(ホーロー看板研究家)
- 2015年(平成27年)  
10月 第40回図書館文学講座「絵本がくれる出会いとつながり」  
講師:間かせ屋。けいたろう氏(絵本作家)
- 2016年(平成28年)  
9月 第41回図書館文学講座「行かずに死ぬるか! 自転車世界9万5000キロの旅から見たこと」  
講師:石田ゆうすけ氏(旅行作家)
- 2017年(平成29年)  
9月 第42回図書館文学講座「絵本と紙芝居のおもしろさの違いとその魅力」 講師:長野ヒデ子氏(絵本作家)
- 2018年(平成30年)  
10月 第43回図書館文学講座「俊成の和歌と蒲郡」  
講師:黒柳孝夫氏(愛知大学名誉教授)
- 2019年(令和元年)  
11月 第44回図書館文学講座「『かがくのとも』50年とこれから」  
講師:川鍋雅則氏(福音館書店『かがくのとも』編集長)



# 編集後記

蒲郡市立図書館館長 佐野 隆由

蒲郡市立図書館の設立は、今からちょうど50年前の昭和44年7月1日。50周年を迎えた大変歴史のある図書館です。私共は、この図書館の指定管理者として平成21年度より管理・運営をさせていただいております。運営にあたり「活字文化の重要性を認識し、大切に考える図書館」「市民の皆さんのニーズに応え、地域に役立つ図書館」「市民の皆さんに親しまれ、共に創りあげ成長する図書館」を目標に努めてまいりました。利用者を対象におこなったアンケート調査では、9割近くの利用者の皆様から「職員の対応について満足」とのご回答をいただいております。

私たちは、これからもますます多くの市民の皆様に「知の宝庫」である図書館をご利用していただけるよう精進してまいります。



楽しい絵本に大喜びの子どもたち。市民の皆様の笑顔に図書館は支えられています



開館当初の児童室。本が子どもたちの心と頭をすこやかに養います



1970年頃の風景。開館直後より来館者は順調に増加し、自転車置場や駐車場を徐々に整備していきました



夏休みの朝、勉強をするために玄関前で開館を待つ学生たち(1990年)



活況を呈する「リサイクル市」(2009年)。図書館での役目を終えた資料を市民へ提供します。現在は常設リサイクルコーナーを設置



夏休みの児童室特集コーナーは「読書感想文におすすめの本」司書のおすすめコメント付きの本が大人気です(写真は2019年の本の一部)

# 地域の未来を拓く図書館へ

知を楽しみ、文化を味わう。豊かな教養の宝庫が、まちの明日を創ります。



小学校で出張ブックトーク。図書館や学校図書館で人気の本の紹介に、身を乗り出す子どもたち



公民館などに7分室を設置し、市内全域に図書館サービスを提供(写真は三谷公民館分室)



新聞4コマ漫画などでおなじみ、蒲郡市在住の漫画家鶴飼し子さんの展示会を開催



夜の図書館で怪談を聴く「ホラーナイト」は立ち見の方も現れるほど大盛況。開始前のひととき



クリスマス会にて。おはなしお婆さんの人形を使ったおはなしは子どもたちに大人気です



小さい文字が読みづらい方向けの大活字本、外国の方向けの外国語資料など、誰もが読書を楽しめる資料を用意



蒲郡市出身の漫画家「大橋裕之」展。サイン会に詰めかけるファンの皆さんと大橋裕之さん



企画展示でおなじみ、アルミホイルアート作家「箔屋スフィカ」さん製作の「めくるくん」



開館50周年記念のオリジナルスタンプ



竣工時の蒲郡市立図書館(昭和 44 年 7 月)



読書グループ交歓会(昭和 45 年)



一般室の目録カード(昭和 54 年)

## 蒲郡市立図書館開館50周年記念誌

令和 2 年 3 月 1 日 発行

編集 蒲郡市立図書館

愛知県蒲郡市宮成町 1-1

電話 (0533)69-3706

ホームページ

<http://www.city.gamagori.lg.jp/site/toshokan/>

印刷 株式会社 サンジュ堂印刷

愛知県蒲郡市三谷町六舗 21 番地